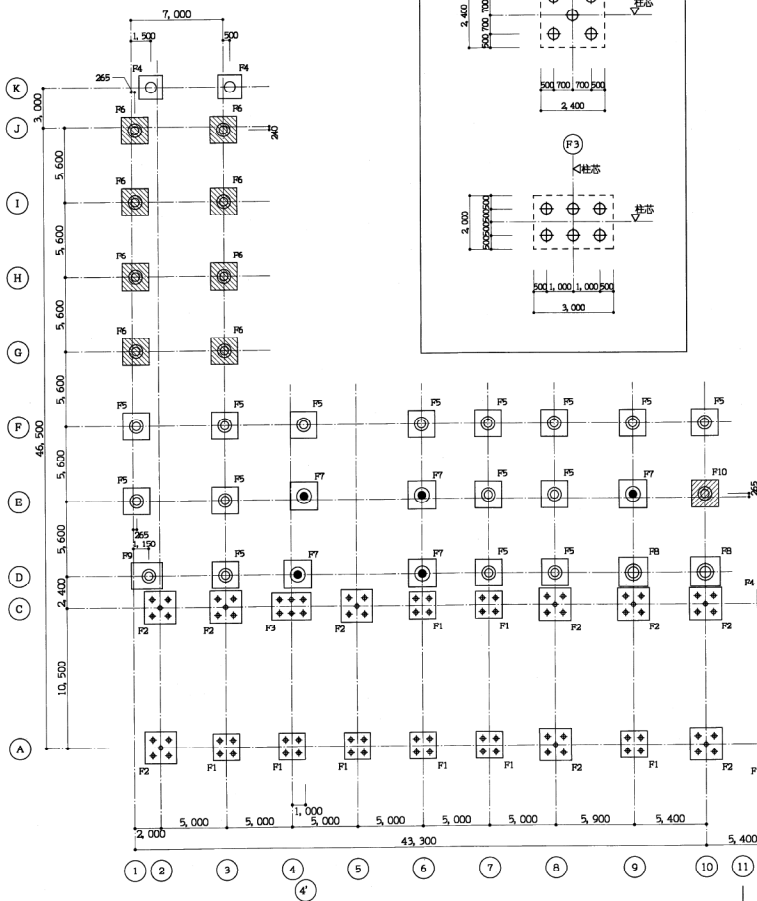


南診療棟①・②共通

特記なき配下配とする

- ・鉄筋コンクリート中空集心力杭
- ・φ:400φ L=21,000
- ・ベノト杭
- : 800φ
- : 1000φ
- : 1100φ
- : 1200φ



南診療棟① 1:200

特記なき杭頭レベルはGL-1500

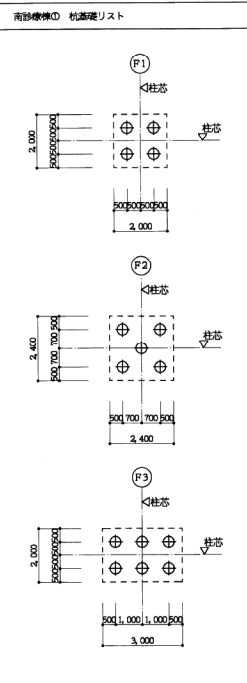
但し 斜線はGL-2000

斜線はGL-2600とする

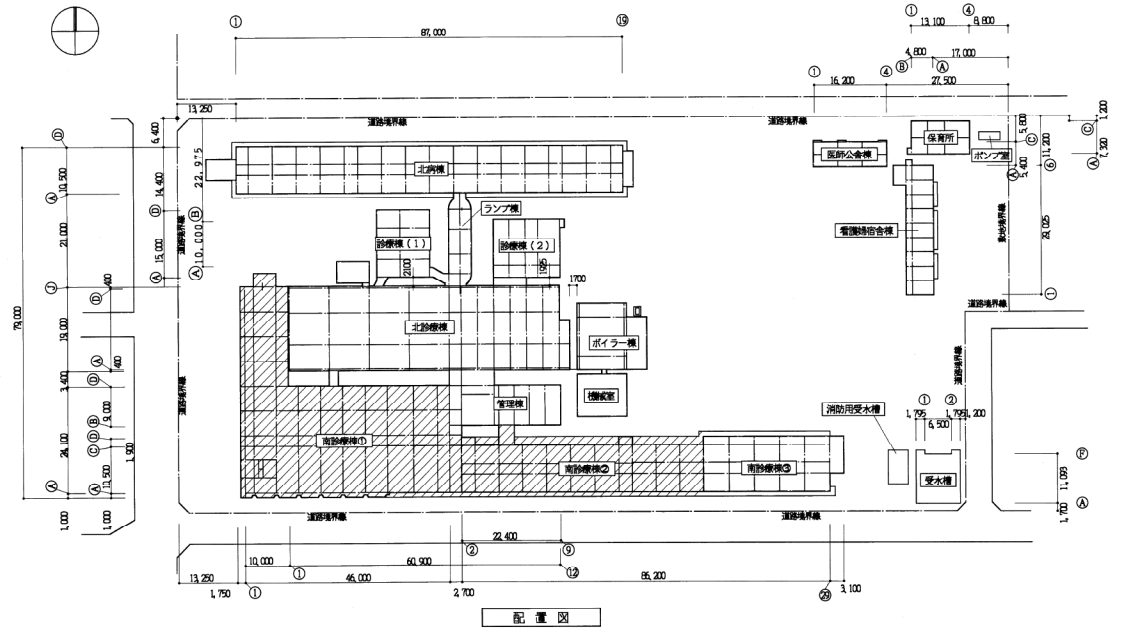
南診療棟①・南診療棟②

南診療棟② 1:200

特記なき杭頭レベルはGL-1500とする

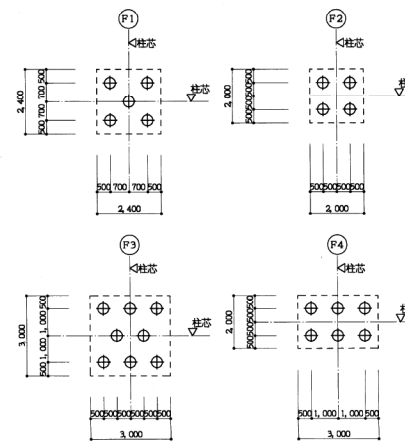


南診療棟① 杭基礎リスト



配置図

南診療棟② 杭基礎リスト



【別添7】既存杭位置図

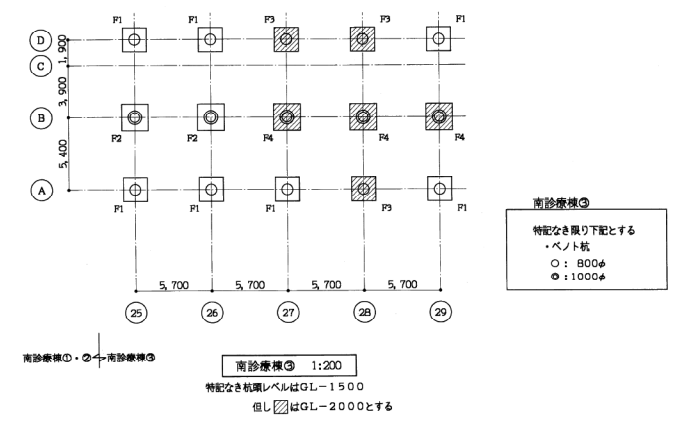
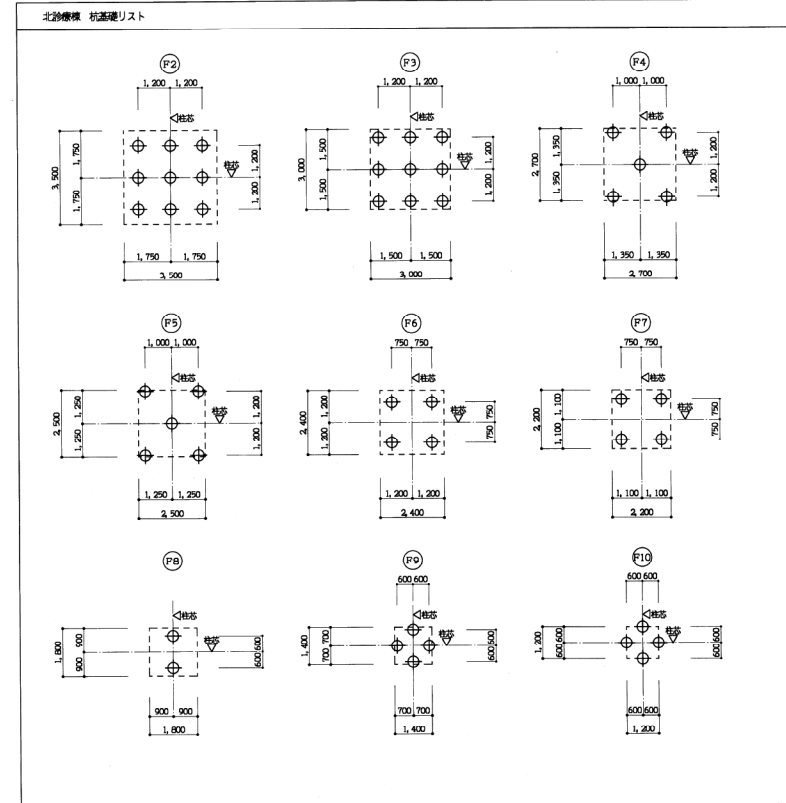
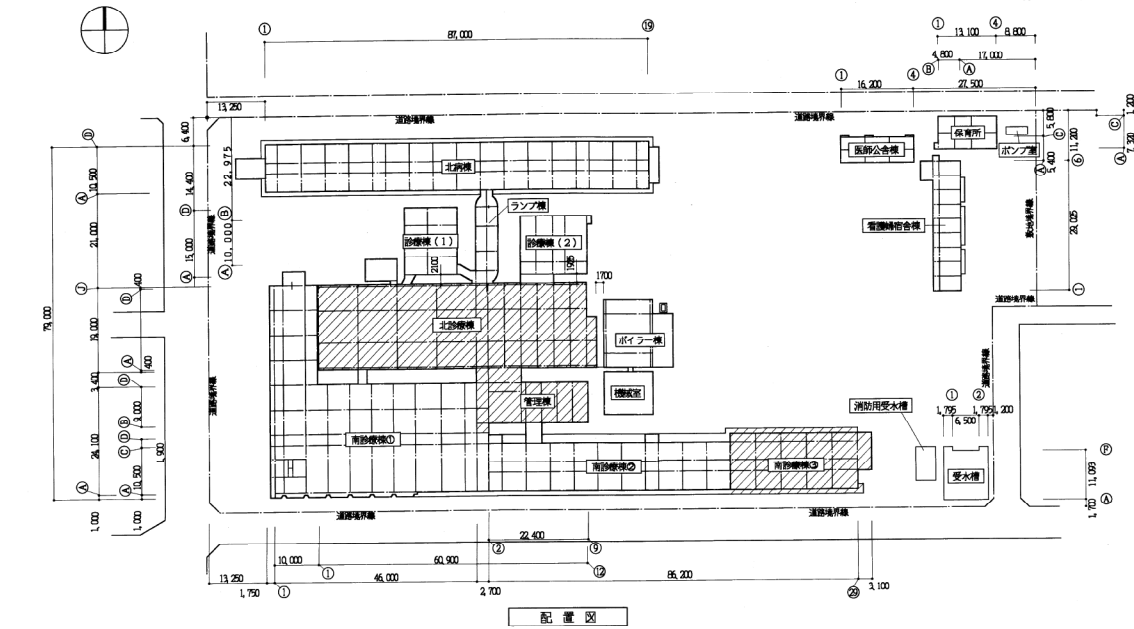
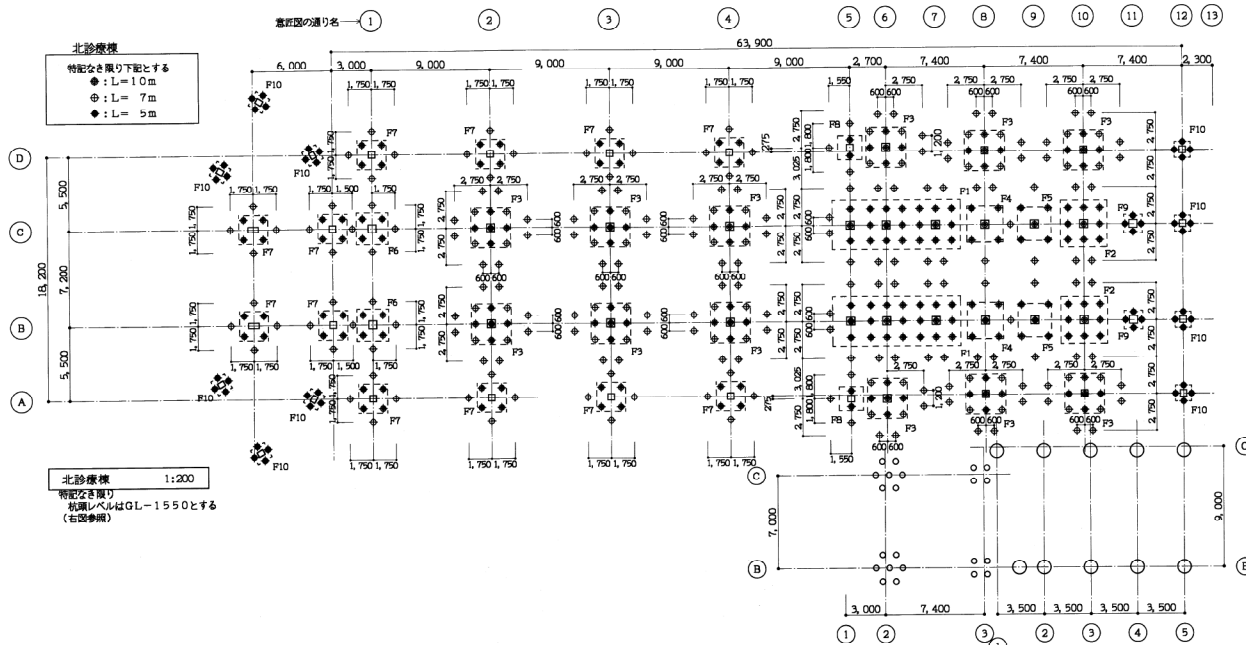
		担当 校図	設計番号 設計年月日	工事名 図面名称	縮尺 図面番号

旧市立中央病院除却整備工事

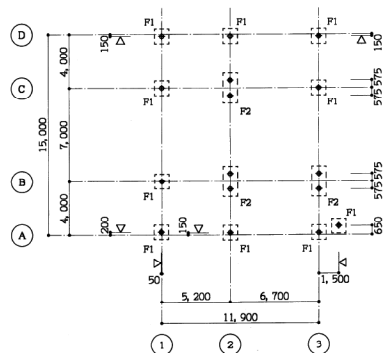
杭配置図(1)

1:200

1

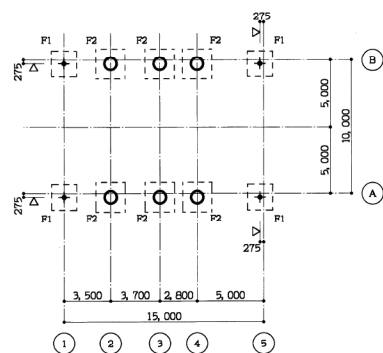


担当 設計番号 設計年月日 一級建築士大田登	工事名 旧市立中央病院除却整備工事 図面名称 杭配置図(2)	縮尺 1:200 図面番号 2
--	--	---



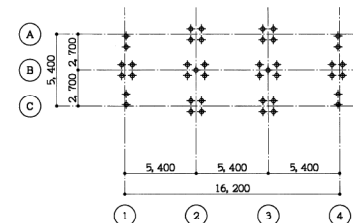
診療棟 (1) 1:200

特記なき限り下記とする
PHC杭
(上杭C種10m/下杭A種11m)
◆: 450φ (GL-21,500)
特記なき杭間レベルはGL-1650とする
△印は杭芯を示す

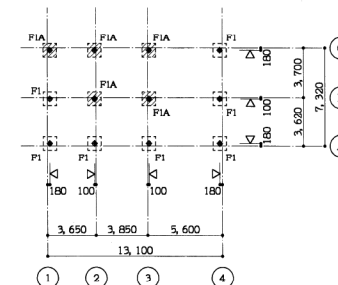


診療棟 (2) 1:200

特記なき限り下記とする
専用打ち杭
●: 1100φ (GL-22,000)
◆: 900φ (GL-22,000)
特記なき杭間レベルはGL-1500とする
△印は杭芯を示す

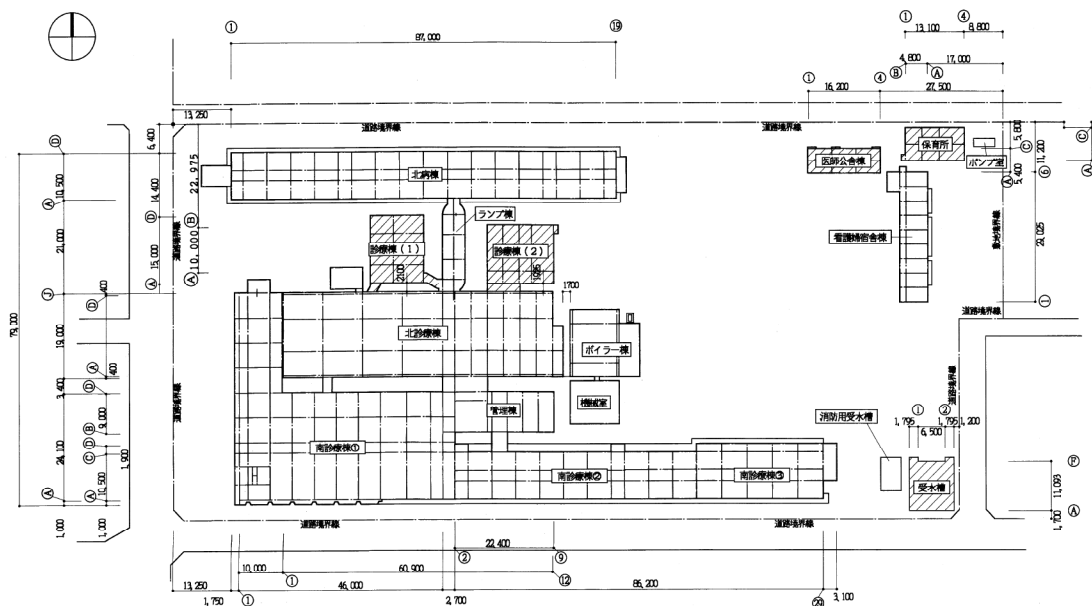


医師公舎 1:200
特記なき杭は ◆: 三角筋形杭 (L=5750) とし、杭間レベルはGL-1200とする

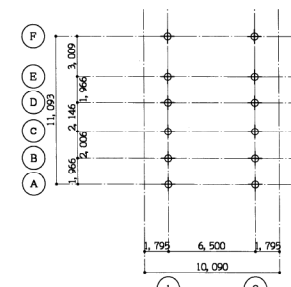


保育所 1:200
△印は杭芯を示す
特記なき杭間レベルはGL-1050
△はGL-1250とする

特記なき限り下記とする
◆: PC杭 GL-20,000
(上杭10m 下杭10m)



配置図



受水槽 1:200
特記なき杭は ◆: PC杭 (500φ) とし、杭間レベルはGL-B00とする

	担当	設計番号	工事名	縮尺 1:200
		〇 —	旧市立中央病院除却整備工事	
		校図	図面名称	
一級建築士大臣登録	校図	設計年月日	図面名称	図面番号 3
		・ ・	杭配置図 (3)	
		・ ・		

解体工事特記仕様書

項目は○印のついたものを摘要する。

章・項目	特記事項
工事名称	旧市立中央病院除却整備工事
工事場所	東大阪市南門南2丁目551番地1他
工事概要	解体工事 外構工事
工事範囲	除却 砂蔵棟(1)、砂蔵棟(2)、保育所、北斎棟、医師公舎 看護婦宿舎、北斎棟、ランブ棟、ボイラー・機械室、管理棟 南斎棟、その他 整備 擁壁、フェンス(門野井) 排水(金所、便所) 整地(現場敷設砕石による整地)
別途工事	先行工事
工事期間	本工事施工期間は契約の翌日より平成 年 月 日迄とする。

第1章	一般共通事項(解体工事共通事項)
① 現場管理について	1) 本工事現場の内外を問わず、人命は勿論のこと第三者の財産に危害損害を与えない様に留意し、万一周辺の土地建物に対する損失苦情その他問題のあった場合、請負人の責任に於いて解決すること。 2) 本工事の着手前に支障を生ずる恐れのある箇所を調査し、迂回、撤去、補強養生等の防護措置をすみやかに請負人にて実施すること。
② 埋設物について	工事進捗に支障を起す埋設物(ガス・給排水・電気等)の処置については監督職員の指示に依り、請負人の責任に於いて、迂回、撤去、プラグ止めのこと。
③ 危険防止について	建築基準法施工例(第7章の5)及び労働安全衛生規則に基づき、安全保護は勿論のこと、現場関係者、付近住民の安全にも万全の措置を取るよう努める。 万一事故が発生した場合、監督職員又は営繕室迄緊急連絡すること。
④ 搬入、搬出について	1) 搬入、搬出に当たり、付近住民に注意することは勿論のこと危険防止のため監督職員と随時協議し万全の措置を施すこと。 2) 搬入、搬出に依り路面悪化が予想されるので、監督職員の指示随時山土、砂、鉄板を持って搬入及び搬出に留意すること。
⑤ 火災の防止について	現場内に於いては特に火災に注意し、焚火等は一定場所以外ではしないことは勿論、喫煙場所についても厳重に注意すること。
⑥ 電話・水道・電気の使用について	監督職員の指示に依り第三者の電話・水道・電気を使用する場合、使用料等を作成し記入の上毎月末に使用料金を支払うこと。
⑦ 解体工事について	1) 解体撤去工事に際しては丁寧に順序よく解体を行い、木材は釘仕舞の上瓦、建具等、全て適量に風通しを良くし結束金物、並びに釘等は空箱に於いて順序よく場外に搬出すること。 2) 鉄筋コンクリート及び骨石その他については圧搾機を使用して、取壊しの上、取壊し撤去のこと。
⑧ 廃品等の処分について	廃品等の処分については、監督職員の指示に従うこと。
⑨ 発生材(残材)の処分について	工事に伴って生じた廃棄物(汚泥、建設廃材、木くず等)は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて処理すること。又、請負業者においては、「建設工事における廃棄物の処理に関する要綱」の手引を遵守し、監督職員の指示に依り処分計画を提出の上、現場より中間処理場までの運搬搬送を行い、現地確認を行うこと。尚、アスベストの搬出においては別紙仕様書による。
⑩ 官庁等からの届出、手続等	各申請の手続等は、請負業者にて行うものとする。
⑪ 監督等への撤去	設備等撤去に当たっては、事前に充分な調査及び手続を済ませてから、安全に施工すること。尚、ガス配管撤去処分については全て本工事に含む。
⑫ 設計図書等の優先順位について	1) 現場説明事項(通立説明、机上説明、質疑応答を含む) 2) 特記仕様書(図面配列のものと別記図書の含む) 3) 設計図書

第2章	仮設工事
① 仮囲い	現状の万能板をできる限り使用し、施工後撤去のこと。
② 足場、その他	建築基準法・労働安全衛生規則等の関係法律に基づいて安全なる計画をし監督職員の承認を得ること。
③ 請負業者事務所	イ、15㎡程度 ロ、20㎡程度
④ 仮設便所	原則として現場内に設けること。
⑤ 電話	原則として現場事務所内に設けること。
⑥ 水道・電気	イ、構内既存の施設利用出来る。 ロ、構内既存の施設利用出来ない。
⑦ 仮設用電力及びガス・水道等の改築	改築は契約施工業者にて行うこと。

⑧ 歩行者安全警備員	工事用車両の搬入・搬出時の歩行者の安全を確保し事故のなきよう努めること。 イ、大型車両又は車両が連続して搬入・搬出する時は歩行者安全警備員を1名以上配置すること。 ロ、工事期間中は常時1名以上歩行者安全警備員を配置すること。 ⑨ 大型車両又は車両が連続して搬入・搬出する時は、歩行者安全警備員を別に1名以上配置し、合計2名以上配置すること。
9. 養生シート	防災2類
10. 防音シート	1. 0mm以上 断密度2. 0kg/㎡以上
①. 防音パネル	(社) 仮設工業会認定品のこと。
②. 工事写真	工事写真は、着工前、施工中、工事完了後、及び事故発生時、監督職員の指示する箇所をカラーで撮影し、A4用紙に貼付すること。尚、基礎及び地中梁等の地中部分解体については、仮囲いに日付を記入し写真と照合できるようにすること。

第3章	土工事
① 敷地整地	監督職員と協議し承諾を得た範囲を行うものとする。
② 残土処分	イ、構外に搬出 ロ、構内に敷き均し 構外搬出に際しては、近隣等の迷惑にならない様充分に注意すること。
③ 地均し	仮囲いの基準とする。(仮囲いが無い場合は境界又は、隣接建物迄とする。)
④ 山止等	山止等は構造計算書により充分安全な計画をし、監督職員の承認を得ること。特に近隣、隣接地に被害なき様充分に注意すること。
⑤ 再生砕石	整備使用のRC-40は現場で再利用のこと。
⑥ 再生砕石の試験	1回の試験(ふるい分け、単位容積重量、飽和比重、吸水率、すべり減量、塑性指数、最大乾燥密度)を行うこと。

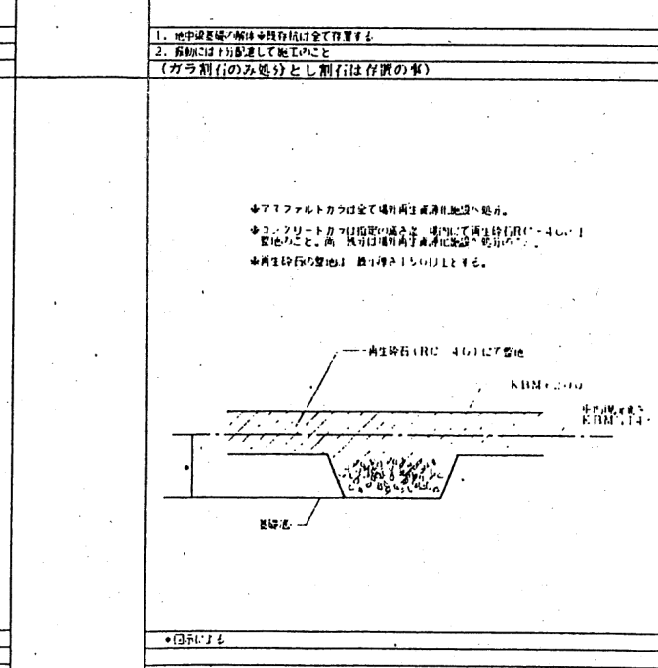
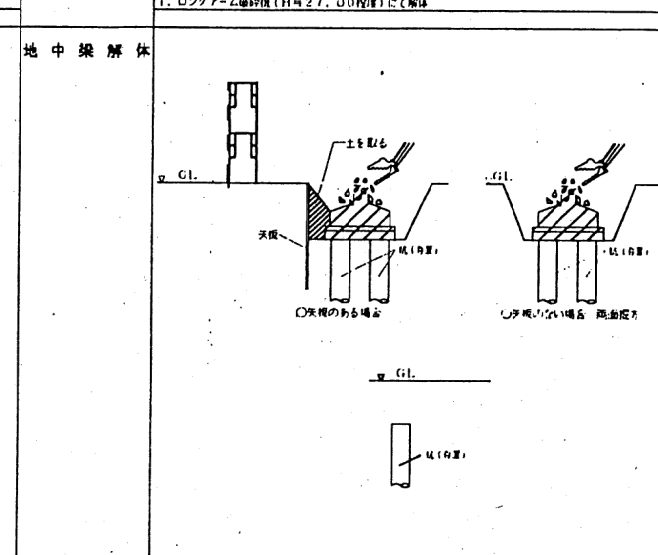
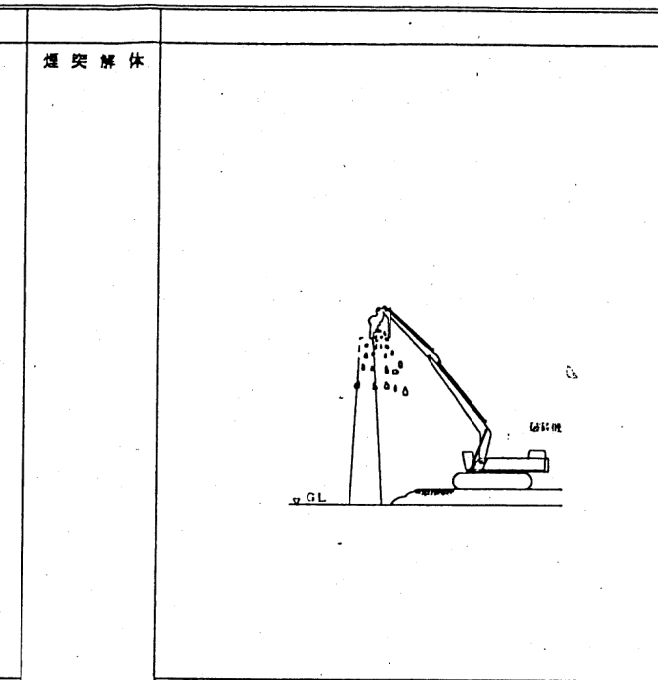
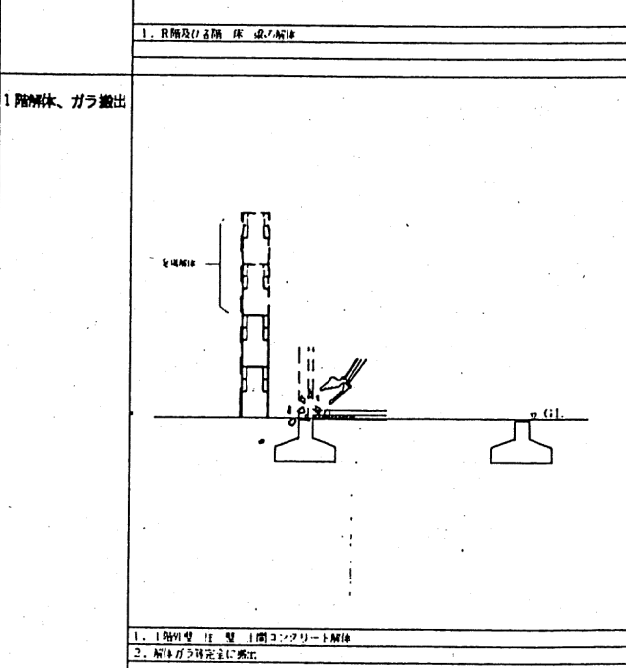
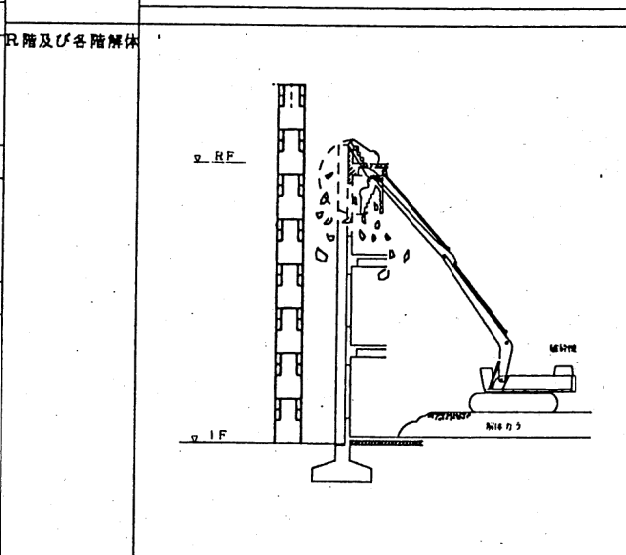
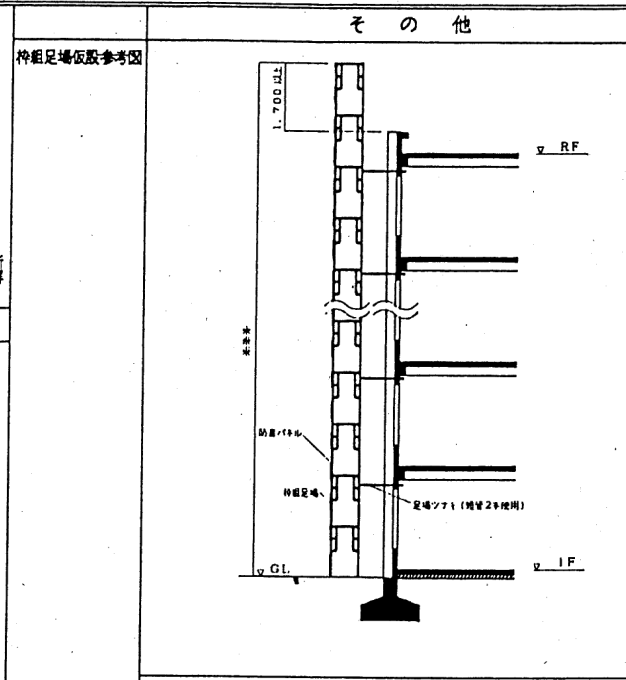
第4章	機械工事
① 撤去工事	消火器、リチウム液、ハロンガスの回収、処理は別途工事。

第5章	電気工事
① 撤去工事	PCB使用機器撤去費、現在保管PCB移設(処分)費、電気機器オイル処分費、冷媒ガス処理費、バッテリー処理費は別途工事。

第6章	廃棄処分
① 管理型処分	・紙くず類 ・木くず類 ・石膏ボード
② 安定型処分	・廃プラスチック類 ・金属くず類 ・ガラス、陶磁器類 ・ゴムくず類

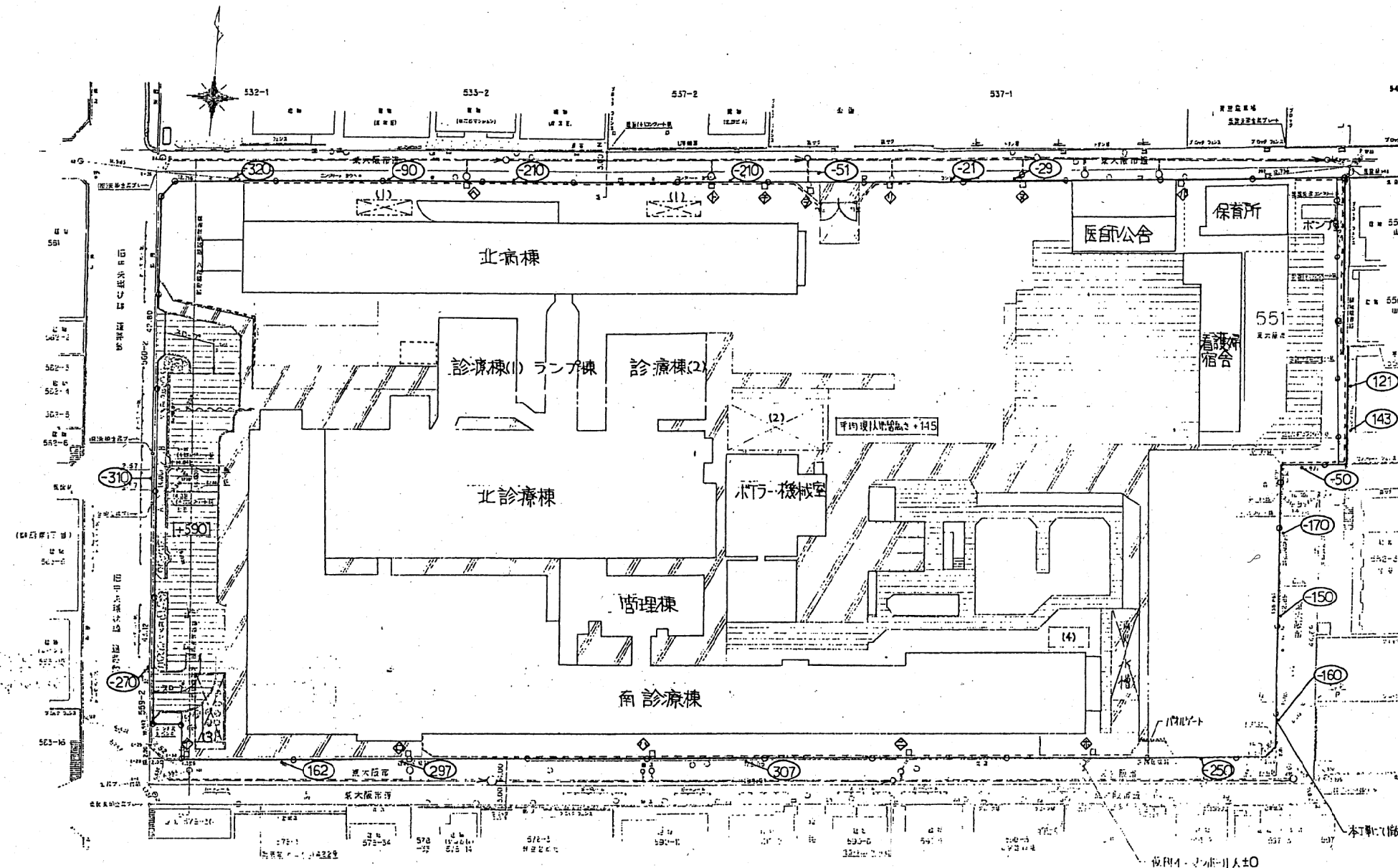
①. 管理型処分	・紙くず類 ・木くず類 ・石膏ボード
②. 安定型処分	・廃プラスチック類 ・金属くず類 ・ガラス、陶磁器類 ・ゴムくず類
メーカーリスト	

アスベスト			
メーカー	TEL	FAX	担当
ニチアス(株)	06-6252-1301	06-6252-1379	松本
(株)ゼネラルエンジニアリング	0729-60-5590	0729-61-3113	山口
(株)エスポワール	06-6720-1006	06-6720-1005	水山



原局

担当	設計番号	工事名	縮尺
検図	設計年月日	図面名称	図面番号
一級建築士事務所		旧市立中央病院除却整備工事	解体工事特記仕様書

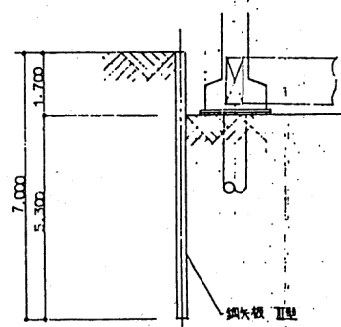
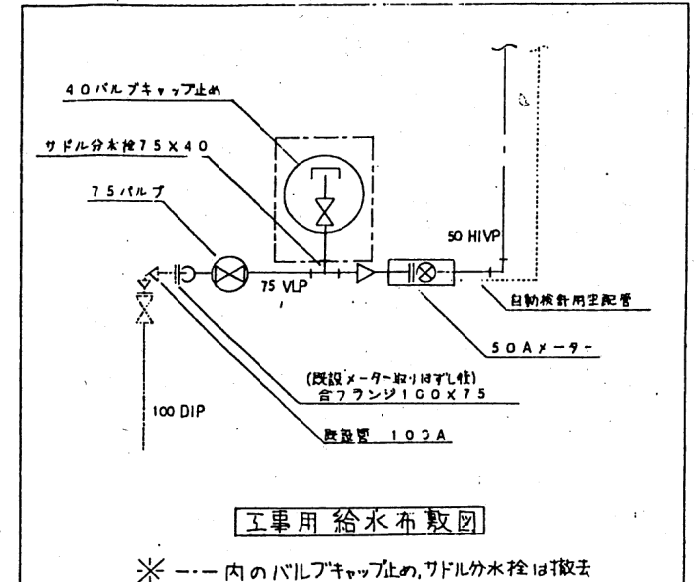
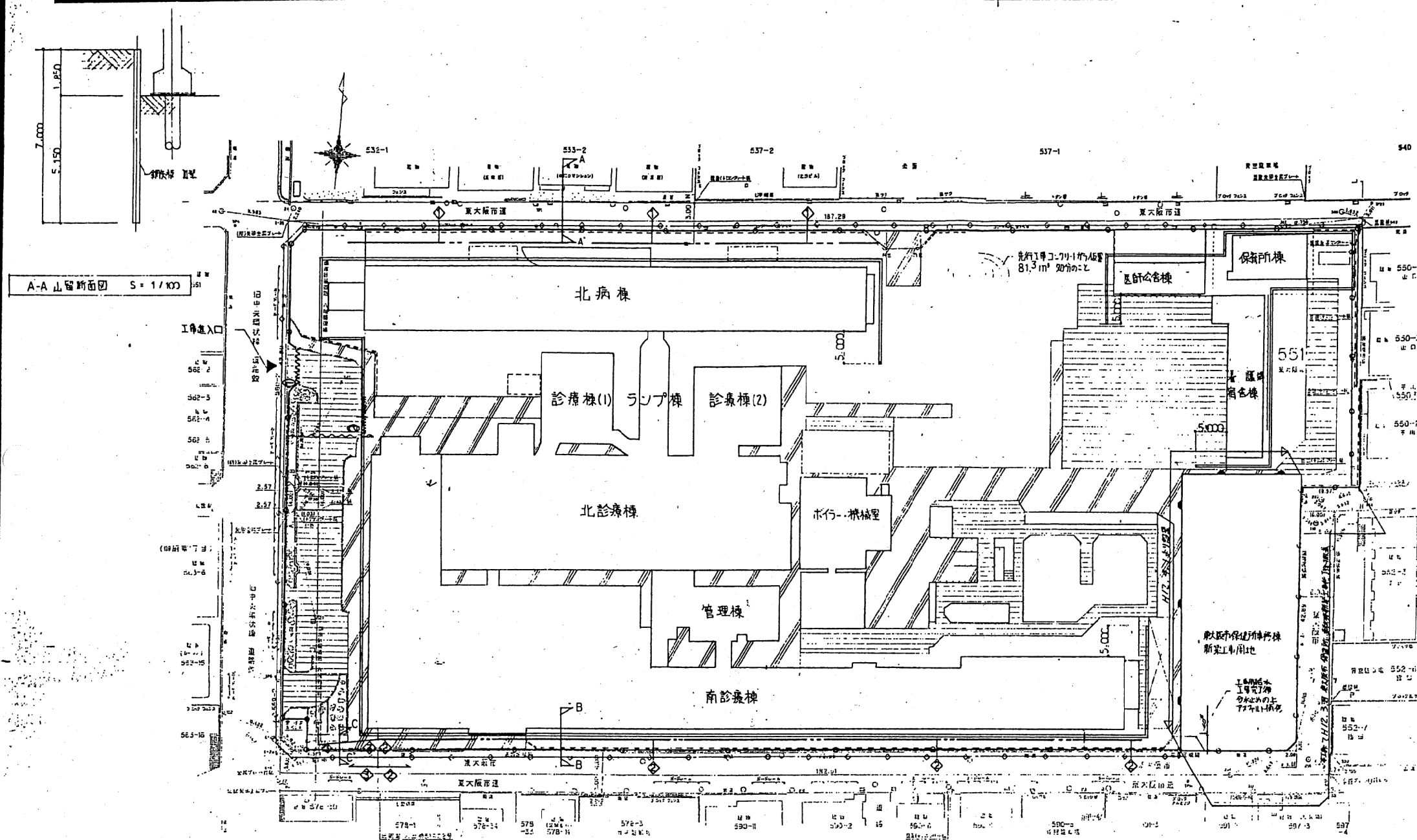


既設雨水会所 S=100		
記号	W x D	H
①	600 x 600	1,080
②	"	1,040
③	"	1,340
④	"	630
⑤	"	920
⑥	"	580
⑦	"	1,010
⑧	"	830
⑨	"	900
⑩	"	840
⑪	"	1,410
⑫	"	2,050

既設凡例		
記号	名称	備考
	コンクリート	コンクリート①00 砕石①00
	アスファルト	アスファルト①50 砕石①50
	浄化槽(既設)	
	消火水槽	
	コンクリート	
	万能鋼板	H=3000
	メッシュ鋼板	
	ネットレス	

現況配置図 S=1/400

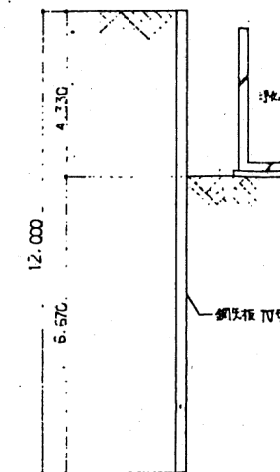
*□内寸法はBIMから地盤高を示す。
 *○内はBIMからの地盤高を示す。
 ※==は、既設配管を示す。



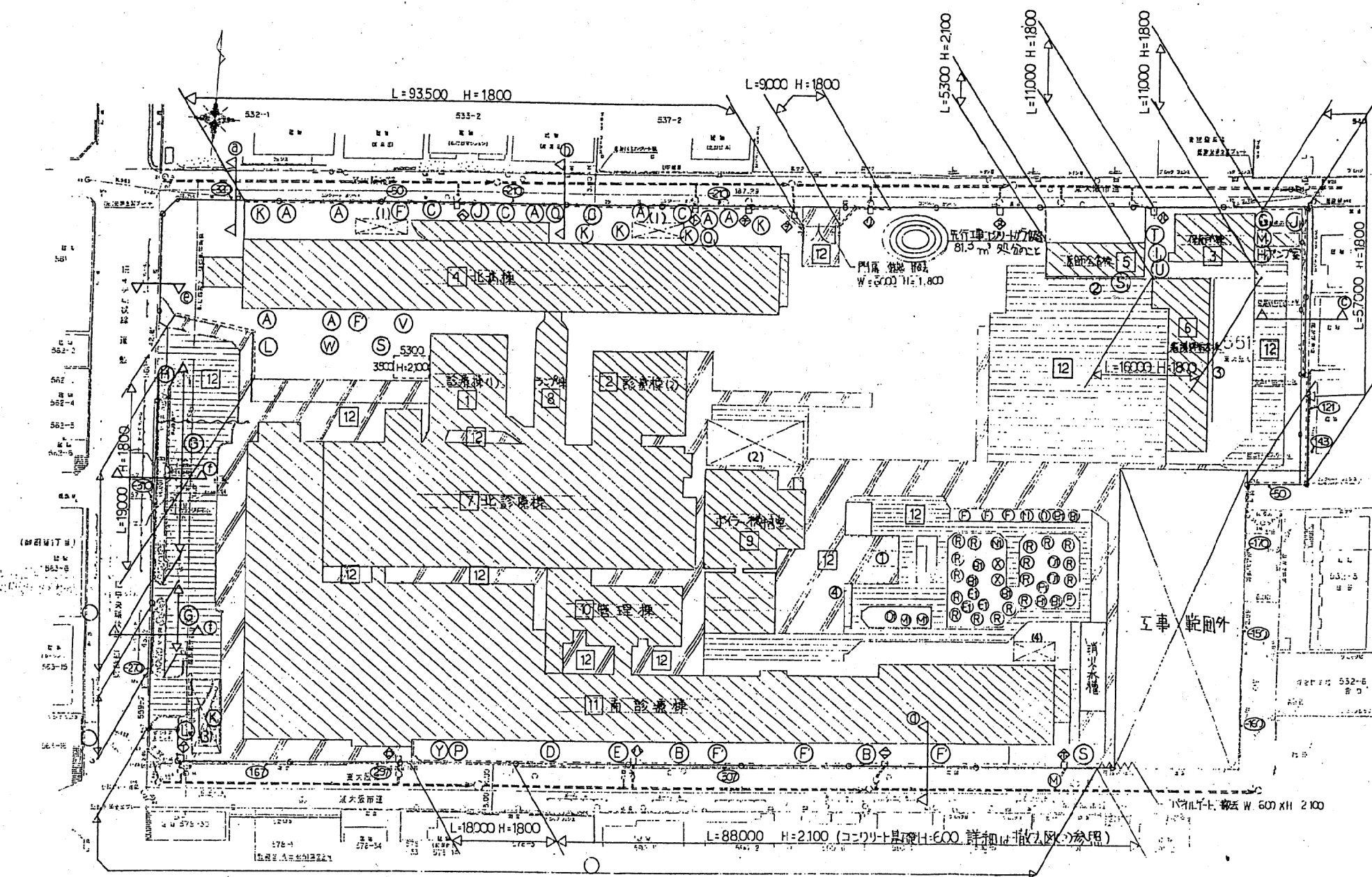
B-B 断面図 S = 1/100

凡 例	記 号	名 称	規 格
①	〰〰〰	工事用出入口仮設門扉	アルミバリア W = 5.40
②	—	仮囲い	万能鋼板 L = 66.00 H = 3.000
③	〰〰〰	枠組足場+防音バリア貼	枠組足場 W=600 足場高 1.700 防音バリアは防音工法認定品 仮設間 木枠解体中
④	—	ガードフェンス R型	市指定による仕様 L=400 外構工事(外柵)期間中
⑤	〰〰〰	工事用出入口	金網複層板 L = 6.800 H = 4.500 (高さ917)
⑥	—	既設仮囲い	万能鋼板 L = 555.00 (一部 H12年 3月撤去)
シートパイル (打抜式) 凡例			
⑦	①	型	シートパイル 施工長さ
⑧	②	Ⅲ型	7.0 102.0
⑨	③	Ⅲ型	7.0 136.8
⑩	④	Ⅳ型	12.0 15.6
備 考			
地上部解体後シートパイル打設			

仮設計画断面図 S = 1/100



C-C 断面図 S = 1/100



記号	工事範囲	備考
①	診療棟(1)	
②	診療棟(2)	
③	保育所	
④	北病棟	
⑤	医師公舎	
⑥	看護婦宿舎	
⑦	北診療棟	
⑧	ランブ棟	
⑨	ボイラ棟機械室	
⑩	管理棟	
⑪	南診療棟	
⑫	その他	コンクリート、アスファルト、植栽等

記号	名称	備考
	解体建物	撤去
	コンクリート	撤去 コンクリート①100 砕石①100
	アスファルト	撤去 アスファルト①50 砕石①150
	排水溝(既存)	撤去
	消火水槽	撤去
	コンクリート丸	撤去(詳細は撤去図(2)参照)
	万能鋼板	撤去(本体解体工事後)
	メッシュ鋼板	撤去
	ネット入	撤去

撤去平面図 S=1/400

※⑩は仮設トイレ
 ※⑪は仮設トイレ
 ※⑫は仮設トイレ
 ※⑬は仮設トイレ
 ※⑭は仮設トイレ

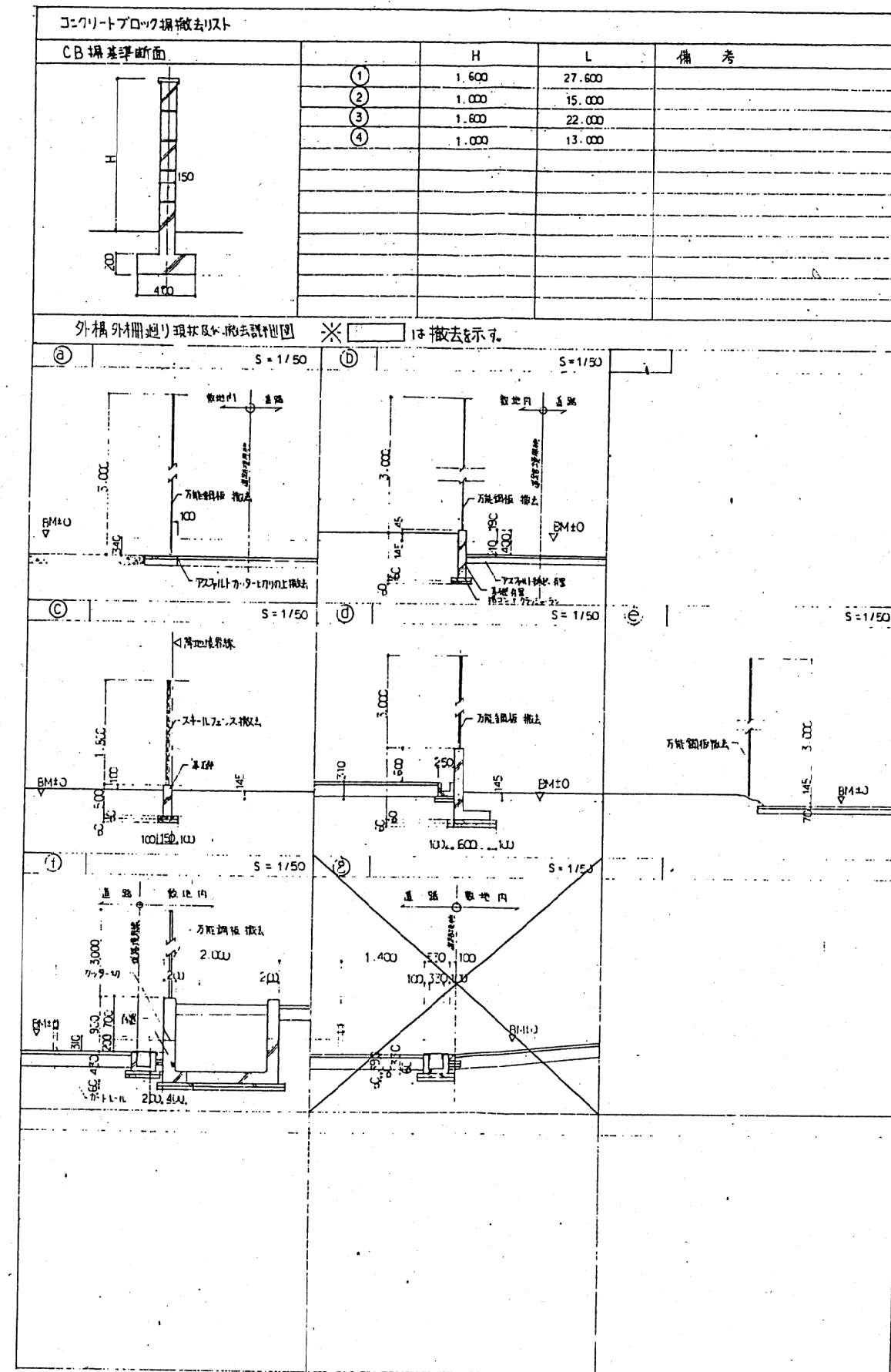
既設雨水会所 S=1/50		
高さ	W x D	H
①	600 x 600	1,030
②	"	1,040
③	"	1,330
④	"	630
⑤	"	930
⑥	"	980
⑦	"	1,010
⑧	"	830
⑨	"	900
⑩	"	840
⑪	"	1,410
⑫	"	2,050

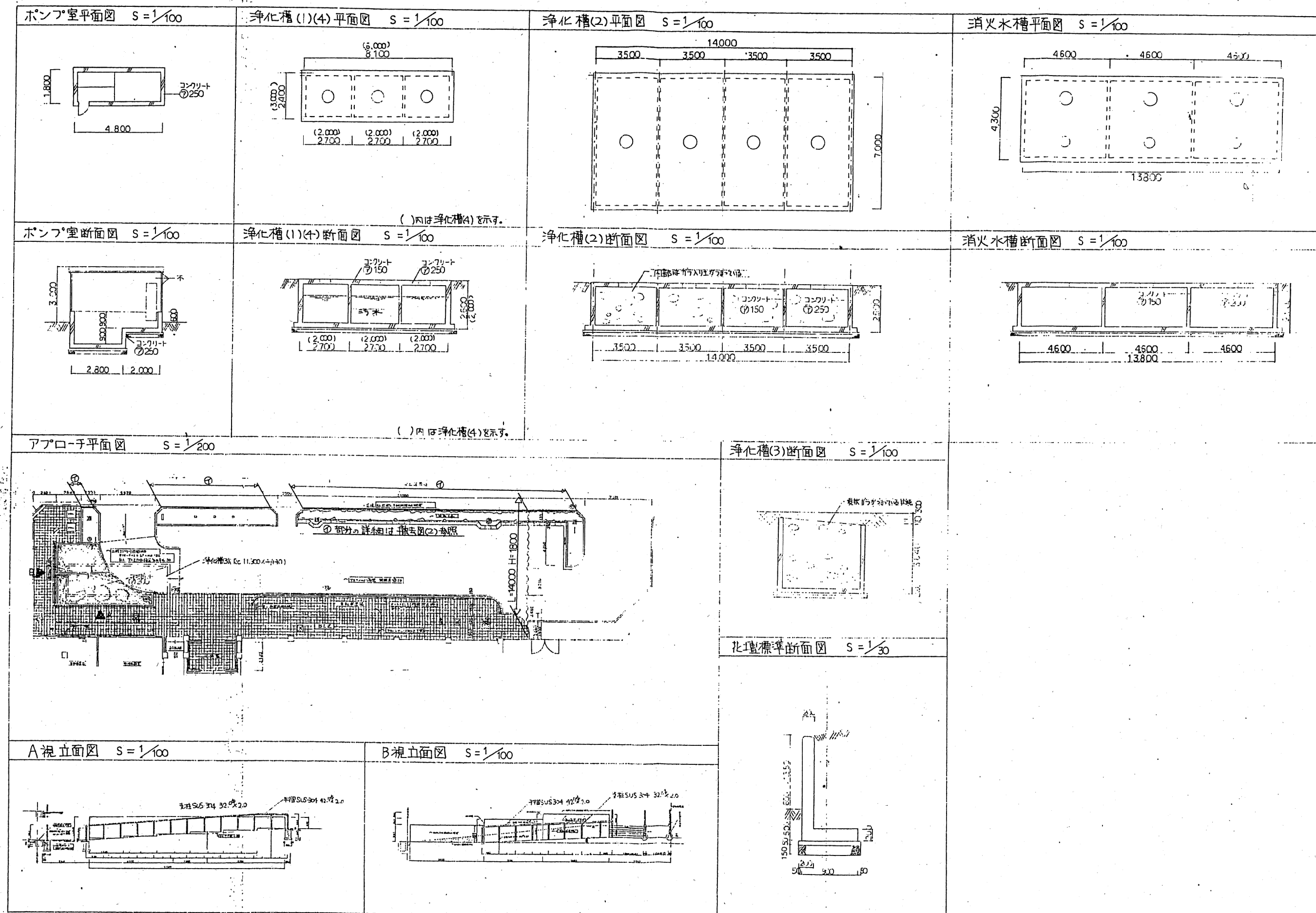
※④は植栽、⑤は擁壁を示す。

撤去植栽リスト					
記号	樹種	C m	W m	H m	本数
(A)	ヒマヤナギ	0.5	2.0	6.5	8
(D)	"	0.6	2.4	6.0	2
(C)	メタセコイヤ	0.4	2.0	6.5	4
(U)	"	0.8	4.0	15.0	1
(E)	"	0.7	4.5	9.0	1
(F)	"	0.4	4.0	8.0	3
(F)	"	0.6	2.5	6.5	5
(G)	大ムササギツリシ		1.5	1.5	20
(H)	"		2.5	1.5	1
(J)	ポプラ	0.6	4.0	6.0	1
(K)	"	0.7	4.5	8.0	5
(L)	柿	0.3	3.5	4.5	1
(M)	"	0.5	3.0	5.0	1
(N)	"	0.4	3.5	3.0	1
(O)	"	0.6	4.5	6.0	1
(P)	桜	0.2	2.0	3.5	1
(K)	"	0.4	3.0	4.0	20
(S)	"	0.7	2.0	3.5	1
(T)	柿	0.4	4.5	6.0	2
(U)	"	0.4	4.0	7.0	1
(V)	松	0.8	6.0	8.0	1
(W)	キンモクセイ	0.2	3.5	4.0	1
(X)	"	0.15	2.0	2.5	2
(Y)	イチシク	0.3	3.5	3.0	1
(Z)	アオキ	0.1	1.5	2.0	1
(A)	ニL	0.2	3.5	4.5	1
(1)	クアキ	0.5	4.0	5.0	7
(C)	"	0.2	2.5	2.5	2
(D)	カスガイアキ	0.2	2.5	2.0	1
(F)	モッコク	0.2	1.5	2.5	3
(F)					

撤去植栽リスト					
記号	樹種	C m	W m	H m	本数
(G)	モチノキ	0.3	2.0	3.0	1
(H)	カクレミノ	0.2	2.5	3.0	1
(I)	ビワ	0.2	2.5	2.5	1
(J)	カエデ	0.2	3.5	4.0	1
(K)	マメツグ	—	1.5	1.5	13
(L)	ミミガミラ	0.15	0.8		10
(M)	"	0.2	2.5	1.5	2
(N)	タイサンボク	0.5	3.0	5.0	1
(O)	ナンキンハゼ	0.3	3.5	4	4
(P)	カリン	0.2	2.5	2.0	1
(Q)	雑木	0.5	3.5	4.5	2
(R)	"	0.6	4.5	7.0	1
(S)	"	0.8	7.0	7.0	1

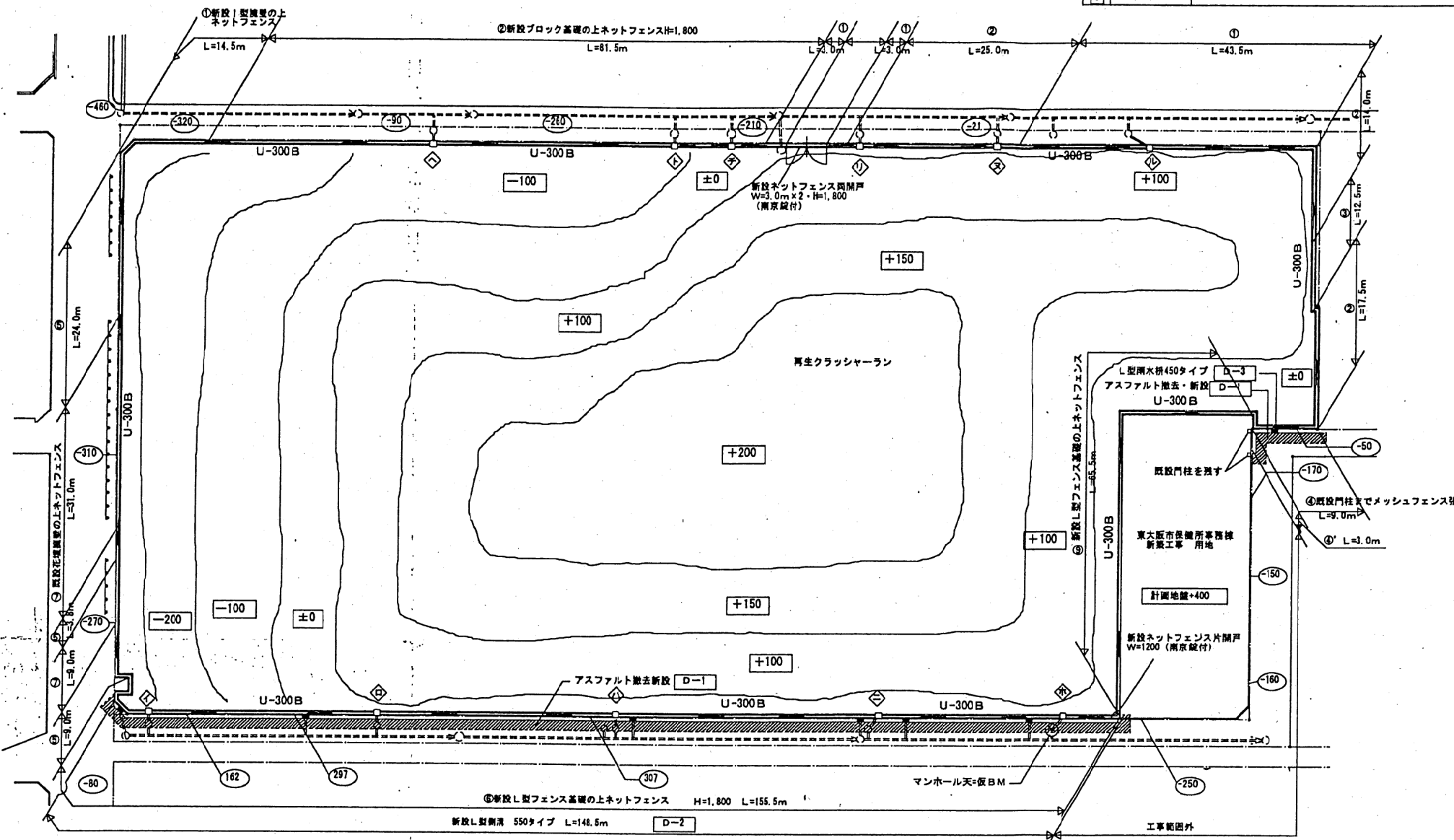
* 低木は総て撤去





原局

記号	設置箇所	備 考
①	周壁・フェンス	門扉共
②	排水	金所・側溝
③	敷地	現場製造砕石による敷地



完成計画平面図 S=1/400

※ 寸法は既BMからの現況道路高さを示す。
 ※ 寸法は既BMからの計画高さを示す。
 ※ 〓は既設配置を示す。
 ※ ⑤、⑦、⑧等の取合については、⑤、⑦の横筋アンカーを⑧、②の既設躯体部にホールインアンカーにて接続の事。

標準図	D-1 アスファルト舗装 S=1/10	D-2 L型側溝 450 550 S=1/10	D-3 L型雨水溝横断面 (450型) S=1/30	D-4 L型雨水溝横断面 (550型) S=1/30
断面図				

① 新設L型側溝の上ネットフェンス S=1/50	② 新設L型側溝の上ネットフェンス S=1/50	③ 新設L型側溝の上ネットフェンス S=1/50	④ 新設L型側溝の上ネットフェンス S=1/50	⑤ 既設水路-新設L型フェンス基礎 S=1/50	⑥ 既設水路-新設L型フェンス基礎 S=1/50	⑦ 既設水路-新設L型フェンス基礎 S=1/50	⑧ 雨水金所 S=1/50	⑨ 新設L型フェンス基礎の上ネットフェンス S=1/50
※ ⑤、⑦、⑧等の取合については、⑤、⑦の横筋アンカーを⑧、②の既設躯体部にホールインアンカーにて接続の事。								

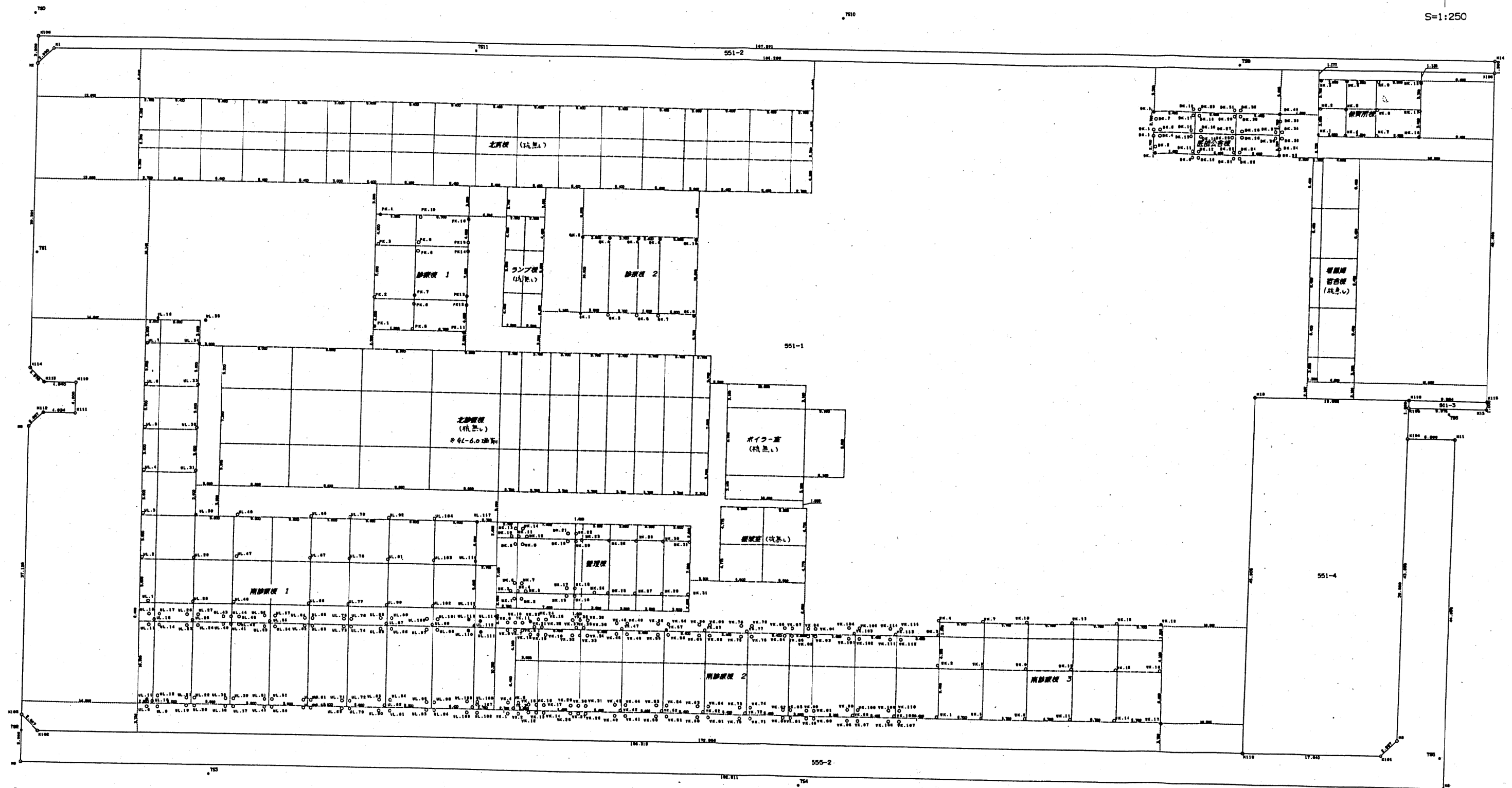
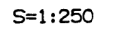
※ メッシュフェンスは全て、新日スチール工業 (株) 新日 ENフェンスWメッシュ1800同等品

※ 特 記
 ※ 土 質 コンクリート強度18N/mm² スラッシュ12
 ※ 土 質 コンクリート強度18N/mm² スラッシュ12
 ※ フェンス基礎設置の砕石層地 エラスタイト厚15mm、φ15,000程度とする
 ※ 本工事で再利用しない既設排水管は、既設金所に閉塞すること

一般建築士会登録

担当	設計番号	工事名	縮 尺
後 図	設計年月日	旧市立中央病院除却整備工事	1:10 1:30 1:50 1:400
		完成計画図	図面番号
			A 07

所在 東大阪市御園南二丁目551-1.-2.-3.-4.555-2



凡 例	
●	基準点
●	境界点
●	実測観測位置
○	計算観測位置
	通り筋

* 通り越は、外観実測点より計測したものである。
但し、外観は全てを測定したのではない。

日期: 2000.9.20

所在地	東大阪市御厨南二丁目
作製日	平成12年8月29日
作製者	